

# BRCGS 食品安全：主な不適合項目 2025-2026

データが示していること

72,000+  
審査を分析



15,000+  
単一の要求項目に関する指摘



80%  
対象拠点が最も多い不適合を回避



## 衛生管理 (4.11.1) 世界で最も多い不適合項目 (#1)

- 建物や設備が常に清潔に保たれていない
- 清掃しにくい箇所に汚れが蓄積
- 清掃手順のばらつき

**ポイント** 問題の入り口は「不衛生そのもの」ではなく、アクセス管理の甘さ。

## ドアと有害生物管理 (4.4.0.8)

- ドアが開放されたまま
- ドアの状態や密閉性が不十分

**ポイント** 問題は発生後ではなく、侵入を許す環境づくりにある。

## 化学物質管理 (4.9.1.1) 10,000+ 件の指摘

- 保管場所が施錠されていない
- 表示が不十分
- 生産区域に化学物質が近すぎる配置

**ポイント** 基本的な管理が見落とされ、汚染リスクが高まっている。

## 壁・天井・床 (4.4.0.1 / 4.4.0.4 / 4.4.0.2)

- 表面が破損している、または清掃しにくい状態
- 汚れの蓄積や結露
- メンテナンス不足

**ポイント** 環境の状態がリスクを左右する。

## 設備リスク管理 (4.6.0.2)

- リスクアセスメントが不十分、または未実施
- 導入時の確認（コミショニング）が不適切
- 衛生設計に関する理解が不足

**ポイント** 新しい設備には新しいリスクが伴うが、過小評価されやすい。

## トレーサビリティと表示 (3.9.0.2)

- ラベルが欠落、または不明確
- 材料の識別が不十分

**ポイント** トレーサビリティが機能しなくなるのは、制度ではなく「運用」に原因がある。

## 共通点は何か？

最も多い不適合のうち七つは、箇条 4「**サイト基準**」に含まれています。ここでは、施設の物理的な環境が中心的な役割を果たします。

床、壁、天井、設備は単なる背景ではなく、汚染をどれだけ効果的に管理できるかを左右する要素です。

適切に維持されていれば食品安全を支えますが、わずかでも放置されると、その効果は徐々に損なわれていきます。

これらの領域の管理が難しい理由は、日常的な作業に依存している頻度の高さにあります。複数のシフト、異なる担当者、時間的な制約の中で継続的に行われる管理であるため、小さな見落としはその瞬間には気付きにくいものの、積み重なることでパターンとして明確に表れ、審査で指摘されます。

こうした不適合が繰り返し発生するのは、突然の故障ではなく、日常業務の中で徐々に管理が弱まるためです。

### 重要な理由

日々の負荷の影響を最も受けやすく、管理が緩みやすい領域であるため。

## 主な不適合以外に見られる弱点

サイト基準以外にも、コアとなるシステム要素で共通した不適合が見られます。

- HACCP（工程フローの不備、危害要因の特定不足）
- 文書管理
- 内部監査の範囲と頻度
- 食品安全文化に関する要求事項
- 防護服の定義と管理

これらは箇条 4 ほど頻度の高い条項ではありませんが、継続して発生しています。

これは、要求事項の解釈や適用方法にばらつきがあることを示しています。

例えば、HACCP の不適合は、手法そのものの誤りではなく、工程の書き起こしが不十分なことに起因する傾向があります。内部監査の指摘は、監査プログラムの不存在ではなく、範囲の設定やスケジュールに関連するものが多く、食品安全文化の不適合は、意図が欠けているのではなく、条項の要求に対して計画が十分ではないことが多い特徴です。いずれの場合も、要求事項自体は存在し、認識されています。ギャップが生じているのは、内容の詳細や完成度、または条項との整合性です。

これはサイト基準とは異なるリスク特性です。サイト基準に関する不適合は運用面で発生し、可視化しやすいのに対し、ここでの指摘はシステム面・手続き面に關わるものです。こうした不適合は、施設が主体的に問題を把握する力を弱めたり、要求事項に対して部分的な適合にとどまったりする場合に、重大な影響を及ぼします。

### ポイント

手順の遵守が見えないところで少しずつ弱まっている。

## この内容が示していること

- ☑ 基本を重視し、複雑さにとらわれないこと
- ☑ 日々の運用面での規律を強化すること
- ☑ 内部監査を“実際に機能する管理ツール”として活用すること
- ☑ 表面的な事象ではなく、根本原因に向き合うこと

## LRQA との取り組み

40 年以上にわたる業界での経験を基に、LRQA は食品・飲料セクターにおける信頼できるグローバルなリスクマネジメントパートナーとして支援を行っています。

LRQA は次の取り組みを支援します。

- ☑ 審査員の見解を通じて、繰り返し発生するリスクを把握すること
- ☑ 根本原因分析と是正処置の強化
- ☑ 有効な内部監査プログラムの定着
- ☑ サイト基準と運用の一貫性の向上
- ☑ BRCGS issue 10 を含む、今後の要求事項への準備

詳細を確認する →

# LRQA について

LRQA は、世界をリードするリスクマネジメントパートナーです。

相互に関連したリスクマネジメントの仕組みを通じて、変化し続けるグローバルな環境の中でも、お客様が常に一步先を行けるよう支援します。

認証、サイバーセキュリティ、安全性、サステナビリティ、そしてサプライチェーンのレジリエンスまで、事業全体に潜むリスクを特定し、それぞれの課題に応じた柔軟で実効性のある対策を設計・実施します。リスクの特定から予防、保護までを包括的に支援し、お客様の事業の持続的な成長を後押しします。

業界ごとの専門知識、データに基づく見解、そして現場に根ざしたチームによって、保証、認証、検査、アドバイザリー、研修の各分野で、世界 150 か国以上・61,000 社を超えるお客様を支えています。

LRQA - Your risk management advantage.

## お問い合わせ

詳細については、[lrqa.com/ja-jp/](https://lrqa.com/ja-jp/) をご覧ください。



LRQA リミテッド  
〒220-6010  
横浜市西区みなとみらい 2-3-1

記載された情報の正確性と最新性には十分配慮していますが、情報の誤りや変更について LRQA は一切の責任を負いません。

**LRQA**  
Your Risk Management  
Advantage